

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展— 知の体系の構造伝来の解明
研究代表者	田島 公 (東京大学・史料編纂所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、天皇家や公家文庫収蔵の史料の公開と目録学の進展を図り、前近代日本の「知の体系」の構造・伝来を解明することを目的とするものである。応募者は、これまで当該史料の公開・研究に邁進し、社会的に大きな貢献をしてきたが、本研究はその「集大成」であり、デジタル画像や目録の公開など、史料の利用環境を改善し、更に「日本目録学」を体系化・国際発信をするなど、大きな研究成果が期待される。</p> <p>日本の古典学をリードし発信する本研究は、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>